

LIBRARY

大社高校
図書館だより
R6 7月号

3年生
特別版

朝読書週間が始まります。

- ・日程 7/3(水)～7/17(水)
- ・時間 8:40～45 (5 分間)

必ずノートに、気になった言葉や考えたことなどをメモしておこう。その積み重ねが、小論文や面接で使える言葉を増やしていくことになるよ!



小論文・面接に役立つ、各分野の必読書をご紹介します

※学研「小論文に読んでおきたい本」を参考にしています。

医療・看護系におすすめの本



NO
IMAGE

ケアとは何か

村上晴彦 中央公論新社
患者さんとのコミュニケーションやケアのあり方については、面接や小論文でもよく問われるテーマ。必ず読んでおきたい。

NO
IMAGE

コミュニティナース

矢田明子 木楽舎
島根県でコミュニティナース（地域密着の看護師）として活躍する矢田さんの本。地域医療に興味のある人はぜひ読んでみて。

そのほか

・『健康格差』

NHK スペシャル取材班 講談社

・『未来の医療年表』

奥真也 講談社

・『石巻赤十字病院の100日間』

由井りょう子 小学館

福祉系におすすめの本



NO
IMAGE

なぜ人と人は支え合うのか

渡辺一史 筑摩書房
同著者の『こんな夜更けにバナナかよ』と合わせて、読んでおきたい。「障がい」や「介護」に対する考え方が大きく変わる。

NO
IMAGE

子ども介護者

濱島淑恵 KADOKAWA
「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか？家族の介護を担う子どもたち＝ヤングケアラー研究の第一人者が書いた支援のあり方。

そのほか

・『高校生ワーキングプア「見えない貧困」の真実』

NHK スペシャル取材班 新潮社

・『15歳からの社会保障』

横山北斗 日本評論社

・『ボクはやっと認知症のことがわかった』

長谷川和夫 KADOKAWA

スポーツ系におすすめの本



NO
IMAGE

スポーツと君たち

佐藤善人 大修館書店
入試でも問われやすい、スポーツに関係するさまざまなトピックスを、平易な言葉で紹介。スポーツ系の入試対策の1冊目におすすめ。

NO
IMAGE

心を整える。

長谷部誠 幻冬舎
心は鍛えるものではなく、整えるもの。あらゆるシーンで使える、実践的メンタルコントロール術。

そのほか

・『スポーツを考える』

多木浩二 筑摩書房

・『スポーツ教養入門』

高峰修 岩波書店

・『スポーツ地域マネジメント』

原田宗彦 学芸出版

▶教育系におすすめの本



NO
IMAGE

学びとは何か

今井むつみ 岩波書店
「学び」とは何かを改めて問い直す本。難易度は高いが、興味のある章だけ読んでもOK。チャレンジしてみよう。

NO
IMAGE

わかりあえないことから

平田オリザ 講談社
「コミュニケーション能力」とはいったい何を指すのか？そして社会は何を求めているのか？

そのほか

- ・『「学校」をつくり直す』 苫野一徳 河出書房新社
- ・『ケーキの切れない非行少年たち』 宮口幸司 新潮社
- ・『教育格差』 松岡亮二 筑摩書房
- ・『体験格差』 今井悠介 講談社

▶保育系におすすめの本



NO
IMAGE

保育とは何か

近藤幹生 岩波書店
乳幼児期の保育・教育をめぐる現在の課題をふまえ、あるべき保育像を考える。島根県立大学短期学部保育学科でも小論の課題文として使われた

NO
IMAGE

児童保育学入門

長崎純心大学児童保育学科 ふくろう出版
保育を考える上で重要なトピックスを、平易な言葉で紹介。保育への理解が深まる。

そのほか

- ・『不適切保育はなぜ起こるのか』 普光院亜紀 岩波書店
- ・『保育園問題』 前田正子 中央公論新社
- ・『保育の道をめざす人へのアドバイス』 紙透雅子 みらい

▶経済系におすすめの本

NO
IMAGE

未来の年表 業界大変化

河合雅司 講談社
人口減少する日本では、各業種や公共サービスに何が起こるのか？日本の課題をふまえ、今後やるべきことを考える。

NO
IMAGE

日本のSDGs

高橋真樹 大月書店
SDGsが形だけになりがちな理由を解き明かし、8つの論点と7つの先進事例からホンモノの持続可能性を考える

そのほか

- ・『大量廃棄社会』 中村和代 光文社
- ・『地域学入門』 山下祐介 筑摩書房
- ・『日本の食と農業の未来』 小口広太 光文社

▶理系におすすめの本

NO
IMAGE

人工知能は人間を超えるか

松尾豊 KADOKAWA
ディープラーニングの先には何があるのか。人工知能学者が語る、人間とは何か。

NO
IMAGE

バッタを倒すぜ アフリカで

前野ウルド浩太郎 光文社
食料危機の原因となるバッタの大量発生を防ぐため、研究する著者のフィールドワーク。研究のおもしろさを体験できる

そのほか

- ・『科学者が人間であること』 中村桂子 岩波書店
- ・『ロボットと人間』 石黒浩 岩波書店
- ・『テクノロジーが予測する未来』 伊藤穰一 SBクリエイティブ

▶人文系におすすめの本

NO
IMAGE

希望のつくり方

玄田有史 岩波書店
著者は島根県出身。希望を持ちにくい現代において、希望を持つにはどうしたらいいのか。入試にも頻出の一冊。

NO
IMAGE

「利他」とは何か

伊藤亜紗 集英社
同著者の『目の見えない人は世界をどう見ているのか』と合わせて、入試に頻出。R4の島根大学人間科学部でも小論の課題文として使われた。

どの本を読もうか迷ったら、
司書に相談してね。希望の
進路をふまえて、あなたにぴ
ったりの一冊を紹介します！